

広報ふくら

自然と心の豊かな故郷 湯田学区

第15号
平成26年3月
編集・発行
湯田学区地域づくり協議会
総務広報部会
連絡先
湯田公民館
電話 74-1438
FAX 74-1427

平成26年度総会案内
日時 4月20日 午後1時半
会場 湯田公民館 集会室
○総会終了後の各部会の会議にもご出席ください。

原木三万本のシイタケ園を経営

②良い条件を作るには、20年サイクルでコナラやミズナラを切る。森の再生活動とタイアップするので環境づくりのために良い。
③保水力が長持ちする木を選ぶ。植菌は「梅のつぼみ」が膨らみ桜が開花する」ころが良い。

ふくらの森再生活動

シイタケ栽培めざし研修会を実施

ふくらの森再生活動も4年目となり、3本の柱の一つである地域の活性化を図るための「有効な活用」を目指し、現在「シイタケ栽培」の研究活動が行われています。1月にはプラザふくらで日本きのこセンターの衣川章先生をお招きして約30名の

参加者からなる現地研修を行いました。以下先生のお話をまとめます。
①ふくらの森はアベマキの木が多いが、この木はシイタケ栽培やなめこ栽培に適する。シカやサルなどの獣害もなく、販売所も近くにあつて立地条件は良い。
②現在60%が中国からの輸入物。原木(ほだ木)からの栽培は15%で、これはうまくて安全性が高いためよく売れる。

3月1日(土)の臨地研修は東近江市と甲賀市を訪問しました。参加者29名はプラザふくらの駐車場から貸切バスを利用して出発、最初は既存の「福祉NP法人」や「ふるさと工房」の三事業所が一緒になつて立ち上げられた「あいとうふくしモール」です。この三社が2年の計画期間を終え、国から1億円の補助金を受けて昨年4月に設立されました。
説明の中で、この施設は地域活性化の「思い」をもつた人々や事業所が集まり、地域の人々の「特技」や「強み」や「専門性」を出し合い、つながり合い、助け合つて、「夢」や「安心」をカタチにしていく所ですと話され感銘を受けました。また、薪ストーブを各施設に設置、里山保全活動から出た木を障害者と高齢者が交流しながら薪にされ、消費され、余分は販売されていきました。



多くの受講者で満室の衣川講演会



ふくらの森内での実地指導を受ける参加者



福祉施設長川副さんの熱のこもった話を聞く



温厚そのものの中本さんからエネルギーをもらう

平成25年度の活動を終わるに際して

協議会評議員長

清水利展

日頃は区民の皆様には当協議会の諸活動にご支援、協力いただき厚くお礼を申し上げます。

さて、浅井湯田地域づくり協議会の諸活動も発足後5年目を終えることになりました。当初は、湯田地区には、暮らしや過疎、獣害の問題など深刻な問題はないので地域づくり協議会立ち上げの必然性はないという意見が多くありました。そこで全住民アンケートを取りましたところ、買い物や不便、地域の交流の機会が失われつつある、子供たちの安全な遊び場がない、各自治会の防災や防犯体制が不十分であるなどの問題点が指摘されました。しかし、発足5年後の今日、少子高齢化の進行、独居老人と空き家の増加、住民間の絆の喪失、災害や原発、景気などしだいに諸問題が増幅しつつあるように思えてなりません。

このような現実を踏まえ、今大切なことは「区民の皆様一人一人の力を結集し、先進地域の活動や私たちの先人の知恵と生き方に学び、ふ

るさとしに生きる自信と誇りを持って行動することではないかと思えます。

ご承知のように昨年の11月の第4回区民祭りにはたくさんの方々が参加され、会場では人々の笑顔が溢れ、再生されたふくらの森にたくさんの子供たちの声が響きました。また、「通学合宿」やふくらの森再生活動は、地道で継続した活動がすすめられ、3年前には、NHK大河ドラマ放映に伴う「浅井三姉妹博」を契機に、北國協往還の道標設置もなされました。「協議会が出来てから地域として確かに変わった」という声もしだいに聞かれるようになったことは喜ばしいことです。

現在長浜市の各地域には24の地域づくり協議会があります。それぞれの活動スタイルはまちまちですが、私は当協議会の活動の目的は、豊かな自然を護り、地域の歴史と伝統を大事にし、人々の太い息を吐き出す顔が溢れた誇りある地域を作っていくための種をまく仕事であり、この地域をさらに発展してくれる有為な人材を育てる活

動ではないかと思っています。

しかしながら、5年の活動を振り返ってみますと、当協議会の現実は役員が固定化し、若者の参入も少なく、時代の厳しさが増しつつある中で、区民の皆さんの支援体制も今一歩というところにあります。幸い連合自治会と当協議会役員とが車の両輪となって意思の疎通を図り、円滑な運営と活動を続けてきました。しかし、自治会長は一年で交代されま

す。一方当協議会役員の固定化と高齢化は進みつつあります。新しく活動に参加していただく人がなかなか現れないという現実は、当協議会の今後において深刻なものがありません。

小西達也ふれあいコンサート実施

1月18日の午後、湯田小学校多目的室で教文体部主催の小西達也ふれあいコンサートが行われました。身体障害者の小西さんが作詞、作曲されたオリジナルソングを歌われ、合間に人権に関する示唆に富んだトークをされました。

トークでは兵庫県でただ一校という教育と療養の養護学校で「与えられた環境で何をして遊ぶか」といつも前向きに過ごしたこと、世の中、子の幸せを考えない親はいない、「そんな子に育てたことではない」と叱る親は嘘ですと話されました。プレゼントされるあなたには、「選択で迷う」「手紙の日付」などには時間がついている、これが「永遠のプレゼント」という歌詞の歌も歌われました。最後に、成人式のインタビューでは多くの青年が



「世界を目指すグローバルな人間になる」と言うが、「自分の周りの人が元氣か」「大丈夫か」と声を掛け合う人間の社会、原点を抑えた地域づくりをしてくださいと励ましの言葉をいただきました。

地域づくり協議会の会員募集中

浅井湯田地域づくり協議会では、今年度の活動にご協力いただける会員を募集しています。希望される方は公民館か役員までお申し出下さい。

- ① 機関紙づくりや情報発信に関心のある人、 ② 健康、福祉活動に関心のある人、 ③ 環境整備や防犯、防災に関心のある人、 ④ 教育や歴史や文化、スポーツ活動に関心のある人、 ⑤ ふくらの森の整備や今後の活用に関心をもっている人 ⑥ 湯田学区の未来に関心をもち、地域を良くしていきたいと考えている人など

あなたのお力を是非当協議会の活動におかしてください。入会をお待ちしています。